

ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・ マネー・ポートフォリオ

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド	追加型投信／海外／株式
	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	追加型投信／国内／債券
信託期間	約10年間（2012年3月22日～2022年3月18日）	
運用方針	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド	ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンドの受益証券
	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	イ、ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券 ロ、円建ての債券
組入制限	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド	・マザーファンド組入上限比率および株式組入上限比率は無制限
	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	・マザーファンド組入上限比率は無制限 ・株式組入上限比率は純資産総額の10%以下
分配方針	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を全額分配し、売買益等は基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
	ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

運用報告書(全体版) 第15期

(決算日 2019年9月24日)

(作成対象期間 2019年3月23日～2019年9月24日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、(オーストラリア高配当株) オーストラリアの株式等に投資し、信託財産の成長をめざすこと、(マネー・ポートフォリオ) 円建ての債券に投資し、安定した収益の確保をめざすことを目的としております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

オーストラリア高配当株

最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額			S & P / A S X 200 指数 (円換算)		株 組 比	式 入 率	株 先 比	式 物 率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率						
	円	円	%		%	%	%	%	%	百万円	
11期末(2017年9月21日)	12,099	200	3.6	13,862	2.5	79.9	2.6	15.3	4,495		
12期末(2018年3月22日)	11,003	230	△ 7.2	13,144	△ 5.2	81.0	2.9	13.2	3,768		
13期末(2018年9月21日)	11,241	180	3.8	13,640	3.8	80.8	3.1	13.2	3,580		
14期末(2019年3月22日)	10,325	190	△ 6.5	13,065	△ 4.2	75.9	3.6	17.4	2,967		
15期末(2019年9月24日)	10,387	230	2.8	13,255	1.4	76.4	3.7	18.6	2,536		

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200 指数 (円換算) は、S & P / A S X 200 指数 (オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を 10,000 として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200 指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLC が有しています。S&P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

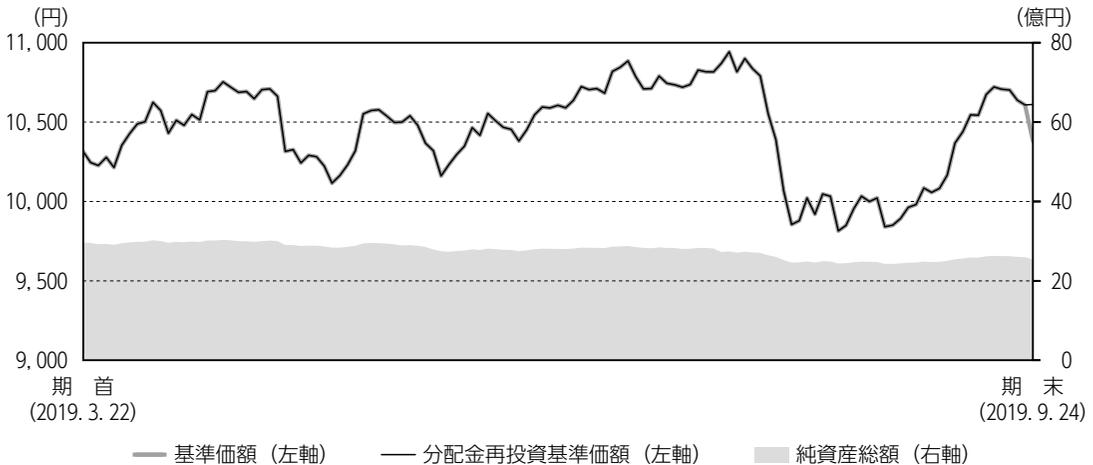
(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：10,325円

期末：10,387円（分配金230円）

騰落率：2.8%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。各国中央銀行の金融緩和姿勢やオーストラリアの総選挙で与党が勝利したことなどを背景に、株式市場が上昇したことがプラス要因となりました。一方で、投資家のリスク回避姿勢の強まりを受けて、オーストラリア・ドルが円に対して下落したことは基準価額にマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (円換算)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率				
(期 首) 2019年 3月22日	円	%		%	%	%	%
	10,325	—	13,065	—	75.9	3.6	17.4
3月末	10,360	0.3	13,076	0.1	76.4	3.6	17.8
4月末	10,668	3.3	13,473	3.1	77.0	3.7	17.4
5月末	10,374	0.5	12,996	△ 0.5	76.0	3.7	17.2
6月末	10,729	3.9	13,548	3.7	77.5	3.8	16.8
7月末	10,842	5.0	13,746	5.2	77.8	4.1	17.4
8月末	9,990	△ 3.2	12,540	△ 4.0	75.5	3.6	19.2
(期 末) 2019年 9月24日	10,617	2.8	13,255	1.4	76.4	3.7	18.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 3. 23 ~ 2019. 9. 24)

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市場は上昇しました。

オーストラリア株式市場は、当作成期首から2019年4月にかけて、中国や米国などで製造業関連のマクロ経済指標が市場予想を上回ったことや、オーストラリアの2019年1-3月のCPI（消費者物価指数）が市場想定よりも低い数字だったことからRBA（オーストラリア準備銀行）による利下げ観測が広がり、株式市場は上昇しました。5月には、連邦議会総選挙において、事前の世論調査では劣勢が伝えられていた与党が勝利したことを受けて、銀行を中心に上昇しました。その後7月にかけて、RBAが政策金利の引き下げを実施したことやFOMC（米国連邦公開市場委員会）において今後の利下げの方向性が示されたこと、オーストラリアの所得税減税による消費拡大期待が広がったことなどを背景に、株式市場は上昇しました。8月には、トランプ米国大統領が中国に対する追加関税を発表したことを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、株式市場は下落しました。その後当作成期末にかけては、米中通商協議の進展期待や各国中央銀行の金融緩和政策への期待感などから、緩やかな上昇基調となりました。

■為替相場

オーストラリア・ドルは対円で下落しました。

当作成期首から2019年4月にかけて、世界経済の減速が懸念される中、各国中央銀行による金融緩和策への期待感が下支えとなり、オーストラリア・ドルはおおむね対円で横ばいの推移となりました。5月は、貿易をめぐる米中間の政治的緊張の高まりなどを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、対円で下落しました。8月には、トランプ米国大統領が中国に対する追加関税を発表したことなどから投資家のリスク回避姿勢が再度強まり、オーストラリア・ドルは対円でさらに下落しました。その後当作成期末にかけて、米中間の政治的緊張が若干緩んだことなどから対円で値を戻す形となりましたが、当作成期を通しては、オーストラリア・ドルは対円で下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

当ファンドでは、引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

ポートフォリオについて

(2019. 3. 23 ~ 2019. 9. 24)

■当ファンド

「ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

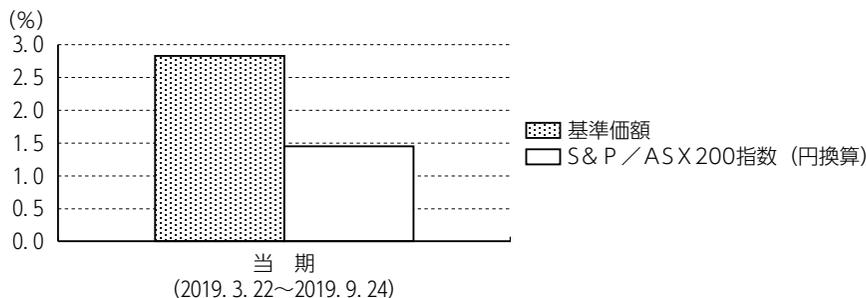
■ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

オーストラリア国内での個人向け住宅ローンを中心的な事業とし、アジアにもネットワークを持つ大手銀行 AUST AND NZ BANKING GROUP (金融)、中小企業向けの貸し出しに強みを持ち、構造改革の進展が期待された大手銀行 NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD (金融)、高いブランド力と強固な顧客基盤を持ち、高い収益性を誇る大手銀行 COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA (金融)、オーストラリア国内での個人向け住宅ローンを主な事業とし、優れた財務基盤とともに安定した業績が予想された大手銀行 WESTPAC BANKING CORP (金融)、グローバルな事業ネットワークを持ち、底堅い利益成長が見込まれた大手証券会社 MACQUARIE GROUP LTD (金融)などを高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳 (1万口当り)

項 目	当期	
	2019年3月23日 ～2019年9月24日	
当期分配金 (税込み)	(円)	230
対基準価額比率	(%)	2.17
当期の収益	(円)	180
当期の収益以外	(円)	50
翌期繰越分配対象額	(円)	3,288

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程 (1万口当り)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 197.10円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	960.51
(d) 分配準備積立金	✓ 2,360.61
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,518.24
(f) 分配金	230.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,288.24

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

当ファンドでは、引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 3. 23～2019. 9. 24)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	86円	0.820%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,455円です。
(投 信 会 社)	(40)	(0.383)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(43)	(0.410)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	7	0.070	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(6)	(0.053)	
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(2)	(0.017)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	5	0.051	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.037)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.012)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	98	0.941	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

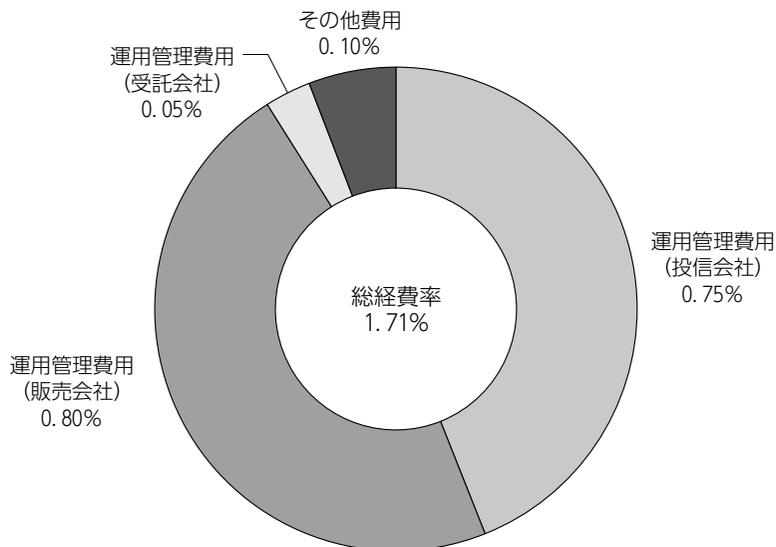
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.71%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年3月23日から2019年9月24日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイウ・オーストラリア高配当株マザーファンド	16,567	32,360	288,883	561,880

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年3月23日から2019年9月24日まで)

項 目	当 期
	ダイウ・オーストラリア高配当株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	618,858千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,209,928千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.28

(注1) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイウ・オーストラリア高配当株マザーファンド	1,550,455	1,278,139	2,523,814

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年9月24日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイウ・オーストラリア高配当株マザーファンド	2,523,814	96.4
コール・ローン等、その他	95,044	3.6
投資信託財産総額	2,618,859	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月24日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル＝72.94円です。

(注3) ダイウ・オーストラリア高配当株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,606,003千円)の投資信託財産総額(2,619,530千円)に対する比率は、99.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年9月24日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,618,859,379円
コール・ローン等	90,794,461
ダイウ・オーストラリア高配当株マザーファンド(評価額)	2,523,814,918
未収入金	4,250,000
(B) 負債	82,827,944
未払収益分配金	56,154,460
未払解約金	3,715,481
未払信託報酬	22,880,356
その他未払費用	77,647
(C) 純資産総額(A-B)	2,536,031,435
元本	2,441,498,270
次期繰越損益金	94,533,165
(D) 受益権総口数	2,441,498,270口
1万口当り基準価額(C/D)	10,387円

* 期首における元本額は2,873,753,914円、当作成期間中における追加設定元本額は50,231,753円、同解約元本額は482,487,397円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,387円です。

ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド

■損益の状況

当期 自2019年3月23日 至2019年9月24日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 9,050円
受取利息	662
支払利息	△ 9,712
(B) 有価証券売買損益	93,455,160
売買益	105,791,031
売買損	△ 12,335,871
(C) 信託報酬等	△ 22,960,114
(D) 当期損益金 (A + B + C)	70,485,996
(E) 前期繰越損益金	△ 77,778,204
(F) 追加信託差損益金	157,979,833
(配当等相当額)	(234,510,662)
(売買損益相当額)	(△ 76,530,829)
(G) 合計 (D + E + F)	150,687,625
(H) 収益分配金	△ 56,154,460
次期繰越損益金 (G + H)	94,533,165
追加信託差損益金	157,979,833
(配当等相当額)	(234,510,662)
(売買損益相当額)	(△ 76,530,829)
分配準備積立金	568,314,230
繰越損益金	△ 631,760,898

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	48,123,761円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	234,510,662
(d) 分配準備積立金	576,344,929
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	858,979,352
(f) 分配金	56,154,460
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	802,824,892
(h) 受益権総口数	2,441,498,270口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	230円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

運用報告書 第15期 (決算日 2019年9月24日)

(作成対象期間 2019年3月23日～2019年9月24日)

ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

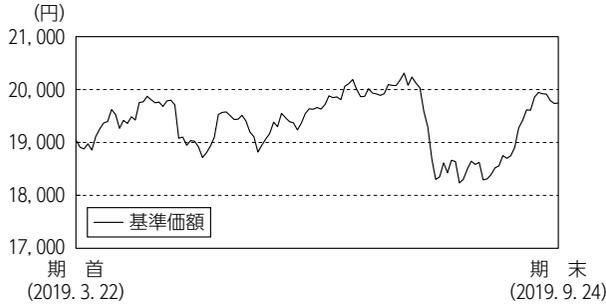
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	オーストラリアの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券）
株式組入制限	無制限

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		S&P/ASX200指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先 物 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)			
(期 首) 2019年 3月22日	円	%	13,065	—	76.3	3.6	17.5
3月末	19,114	0.4	13,076	0.1	77.1	3.6	18.0
4月末	19,711	3.5	13,473	3.1	77.3	3.7	17.5
5月末	19,195	0.8	12,996	△ 0.5	76.4	3.7	17.2
6月末	19,881	4.4	13,548	3.7	77.9	3.9	16.9
7月末	20,121	5.7	13,746	5.2	78.2	4.1	17.5
8月末	18,557	△ 2.6	12,540	△ 4.0	75.9	3.7	19.3
(期 末) 2019年 9月24日	19,746	3.7	13,255	1.4	76.8	3.8	18.7

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：19,043円 期末：19,746円 騰落率：3.7%

【基準価額の主な変動要因】

当作成期の基準価額は上昇しました。各国中央銀行の金融緩和姿勢やオーストラリアの総選挙で与党が勝利したことなどを背景に、株式市場が上昇したことがプラス要因となりました。一方で、投資家のリスク回避姿勢の強まりを受けて、オーストラリア・ドルが円に対して下落したことは基準価額にマイナスの要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市場は上昇しました。

オーストラリア株式市場は、当作成期首から2019年4月にかけて、中国や米国などで製造業関連のマクロ経済指標が市場予想を上回ったことや、オーストラリアの2019年1-3月のCPI(消費者物価指数)が市場想定よりも低い数字だったことからRBA(オーストラリア準備銀行)による利下げ観測が広がり、株式市場は上昇しました。5月には、連邦議会総選挙において、事前の世論調査では劣勢が伝えられていた与党が勝利したことを受けて、銀行を中心に上昇しました。その後7月にかけて、RBAが政策金利の引き下げを実施したことやFOMC(米国連邦公開市場委員会)において今後の利下げの方向性が示されたこと、オーストラリアの所得税減税による消費拡大期待が広がったことなどを背景に、株式市場は上昇しました。8月には、トランプ米国大統領が中国に対する追加関税を発表したことを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、株式市場は下落しました。その後当作成期末にかけては、米中通商協議の進展期待や各国中央銀行の金融緩和と政策への期待感などから、緩やかな上昇基調となりました。

○ 為替相場

オーストラリア・ドルは対円で下落しました。

当作成期首から2019年4月にかけて、世界経済の減速が懸念される中、各国中央銀行による金融緩和策への期待感が下支えとなり、オーストラリア・ドルはおおむね対円で横ばいの推移となりました。5月は、貿易をめぐる米中間の政治的緊張の高まりなどを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、対円で下落しました。8月には、トランプ米国大統領が中国に対する追加関税を発表したことなどから投資家のリスク回避姿勢が再度強まり、オーストラリア・ドルは対円でさらに下落しました。その後当作成期末にかけて、米中間の政治的緊張が若干緩んだことなどから対円で値を戻す形となりましたが、当作成期を通じては、オーストラリア・ドルは対円で下落しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドでは、引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

◆ ポートフォリオについて

オーストラリア国内での個人向け住宅ローンを中心とする、アジアにもネットワークを持つ大手銀行AUST AND NZ BANKING GROUP(金融)、中小企業向けの貸し出しに強みを持ち、構造改革の進展が期待された大手銀行NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD(金融)、高いブランド力と強固な顧客基盤を持ち、高い収益性を誇る大手銀行COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA(金融)、オーストラリア国内での個人向け住宅ローンを主な事業とし、優れた財務基盤とともに安定した業績が予想された大手銀行WESTPAC BANKING CORP(金融)、グローバルな事業ネットワークを持ち、底堅い利益成長が見込まれた大手証券会社MACQUARIE GROUP LTD(金融)などを高位に組み入れました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

当ファンドでは、引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	14円 (10)
(先物・オプション)	(0)
(投資信託証券)	(3)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	9 (7)
(その他)	(2)
合 計	23

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 株 式

(2019年3月23日から2019年9月24日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	オーストラリア	百株	千オーストラリア・ドル	百株	千オーストラリア・ドル
		5,355 (91.41)	1,941 (176)	7,410.6 (—)	6,295 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2019年3月23日から2019年9月24日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	オーストラリア	千口	千オーストラリア・ドル	千口	千オーストラリア・ドル
		264.665 (51.796)	880 (87)	230.241 (—)	1,722 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

(3) 先物取引の種類別取引状況

(2019年3月23日から2019年9月24日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国	百万円	百万円	百万円	百万円
	208	221	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

(1)株 式

(2019年3月23日から2019年9月24日まで)

銘柄	当 期			期 末			
	買 付			売 付			
	株 数	金 額	平均単価	株 数	金 額	平均単価	
	千株	千円	円	千株	千円	円	
FORTESCUE METALS GROUP LTD (オーストラリア)	91	56,553	621	MACQUARIE GROUP LTD (オーストラリア)	6.5	63,598	9,784
ATLAS ARTERIA (オーストラリア)	39	21,711	556	INSURANCE AUSTRALIA GROUP (オーストラリア)	80	48,447	605
BORAL LTD (オーストラリア)	50	19,569	391	RIO TINTO LTD (オーストラリア)	4.4	29,981	6,813
WOODSIDE PETROLEUM LTD (オーストラリア)	4	10,626	2,656	WOODSIDE PETROLEUM LTD (オーストラリア)	11	29,092	2,644
AMCOR LIMITED (オーストラリア)	8.5	10,282	1,209	ASX LTD (オーストラリア)	5	28,528	5,705
SOUTH32 LTD (オーストラリア)	40	9,934	248	COMPUTERSHARE LTD (オーストラリア)	19	25,672	1,351
SRG GLOBAL LTD (オーストラリア)	300	9,652	32	JB HI-FI LTD (オーストラリア)	11	25,457	2,314
BHP GROUP LTD (オーストラリア)	3	9,186	3,062	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD (オーストラリア)	12	25,426	2,118
				BLUESCOPE STEEL LTD (オーストラリア)	26	23,890	918
				CHALLENGER LTD (オーストラリア)	35	21,200	605

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2)投資信託証券

(2019年3月23日から2019年9月24日まで)

銘柄	当 期			期 末			
	買 付			売 付			
	口 数	金 額	平均単価	口 数	金 額	平均単価	
	千口	千円	円	千口	千円	円	
CHARTER HALL LONG WALE REIT (オーストラリア)	75	29,433	392	LENLEASE GROUP (オーストラリア)	59	61,285	1,038
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA (オーストラリア)	110	20,589	187	SYDNEY AIRPORT (オーストラリア)	78	45,871	588
CENTURIA INDUSTRIAL REIT (オーストラリア)	40	9,147	228	CENTURIA INDUSTRIAL REIT (オーストラリア)	93.241	22,186	237
RURAL FUNDS GROUP (オーストラリア)	39.665	5,976	150				

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘柄	期 首	当 期 末		業 種 等
		株 数	評 価 額	
	株 数	外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千円	
(オーストラリア)				
BHP GROUP LTD	130	160	601	43,904 素材
SOUTH32 LTD	700	1,100	301	21,984 素材
ALUMINA LTD	4,000	4,000	984	71,772 素材
WOODSIDE PETROLEUM LTD	212.27	144.68	471	34,423 エネルギー
FORTESCUE METALS GROUP LTD	370	1,280	1,149	83,840 素材
BENDIGO AND ADELAIDE BANK	323.58	163.58	189	13,828 金融
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	927.08	836.75	2,487	181,449 金融
WESTPAC BANKING CORP	897.01	867.82	2,586	188,630 金融
AUST AND NZ BANKING GROUP	934.57	874.57	2,442	178,168 金融

銘柄	期 首	当 期 末		業 種 等
		株 数	評 価 額	
	株 数	外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千円	
RIO TINTO LTD	189.59	145.59	1,351	98,589 素材
NUFARM LTD	207.77	207.77	95	6,986 素材
STAR ENTERTAINMENT GRP LTD/T	500	500	214	15,609 一般消費財・サービス
AURIZON HOLDINGS LTD	1,000	1,000	605	44,128 資本財・サービス
WPP AUENZ LTD	1,871.39	1,871.39	105	7,712 ミュージケーション・サービス
AUSTRALIAN VINTAGE LTD	371.27	371.27	18	1,313 生活必需品
QMS MEDIA LTD	1,056.71	1,071.83	93	6,801 ミュージケーション・サービス
SRG GLOBAL LTD	13,833.98	14,218.64	575	42,002 資本財・サービス
BRAVURA SOLUTIONS LTD	450	454.41	190	13,920 情報技術
APPEN LTD	130	130	286	20,860 情報技術

ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド

銘柄	期首		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千円	千円	
PRO MEDICUS LTD	79.24	79.24	233	17,038	ヘルスケア
Z ENERGY LTD	0.53	0.53	0	20	エネルギー
COLES GROUP LTD	160	160	240	17,505	生活必需品
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	301.02	281.02	2,305	168,182	金融
CALTEX AUSTRALIA LTD	70	—	—	—	エネルギー
QBE INSURANCE GROUP LTD	226.42	226.42	289	21,106	金融
TELSTRA CORP LTD	500	500	182	13,311	コミュニケーション・サービス
SUPER RETAIL GROUP LTD	157.35	157.35	156	11,419	一般消費財・サービス
MACQUARIE GROUP LTD	204.64	139.64	1,834	133,804	金融
BANK OF QUEENSLAND LTD	195.86	203.44	198	14,512	金融
CSL LTD	30	30	710	51,792	ヘルスケア
WESFARMERS LTD	243.63	243.63	972	70,921	一般消費財・サービス
BLUESCOPE STEEL LTD	260	—	—	—	素材
SUNCORP GROUP LTD	1,160	970	1,325	96,646	金融
BORAL LTD	400	600	294	21,488	素材
ASX LTD	80	30	245	17,938	金融
COMPUTERSHARE LTD	190	—	—	—	情報技術
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	2,162.16	1,362.16	1,092	79,683	金融
SONIC HEALTHCARE LTD	4.2	4.2	11	867	ヘルスケア
CHALLENGER LTD	566.72	216.72	164	12,013	金融
DOWNER EDI LTD	850	850	675	49,289	資本財・サービス
JB HI-FI LTD	110	—	—	—	一般消費財・サービス
ATLAS ARTERIA	331.26	721.26	569	41,508	資本財・サービス
IOOF HOLDINGS LTD	470	470	315	23,003	金融
MINERAL RESOURCES LTD	410	410	572	41,777	素材
PLATINUM ASSET MANAGEMENT	180	180	73	5,396	金融
FLEXIGROUP LTD	813.62	813.62	163	11,928	金融
CARDNO LTD	156.45	156.45	17	1,266	資本財・サービス
THORN GROUP LTD	287.36	—	—	—	一般消費財・サービス
NANOSONICS LTD	40.37	40.37	25	1,875	ヘルスケア
ORORA LTD	763.9	—	—	—	素材
GENWORTH MORTGAGE INSURANCE	700	—	—	—	金融
RIDLEY CORP LTD	125.71	127.12	12	927	生活必需品
PACT GROUP HOLDINGS LTD	79.16	79.16	17	1,304	素材
VILLA WORLD LTD	288.49	288.49	67	4,902	不動産
ファンド	株数、金額	株数、金額	27,520	2,007,363	
合計	銘柄数<比率>	銘柄数	54銘柄	<76.8%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < > 内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首		当期末	
	口数	口数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
	千口	千口	千円	千円
(オーストラリア)				
LENLEASE GROUP	59	—	—	—
CHARTER HALL EDUCATION TRUST	134.981	138.02	491	35,839
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	198.049	150.774	500	36,511
AVENTUS GROUP	72.343	75.014	202	14,773
RURAL FUNDS GROUP	39.706	80.294	136	9,956
CHARTER HALL LONG WALE REIT	—	81.887	474	34,642
CENTURIA METROPOLITAN REIT	225.205	225.205	689	50,264
TRANSURBAN GROUP	32	32	472	34,427
SYDNEY AIRPORT	235	157	1,262	92,070
APA GROUP	49.348	49.348	570	41,645
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	194.705	201.569	439	32,051
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	76	188.283	491	35,844
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	106.836	106.836	465	33,975
SCENTRE GROUP	50	50	197	14,369
ARENA REIT	25.812	26.455	76	5,557
GOODMAN GROUP (非上場)	15	15	211	15,448
CENTURIA METROPOLITAN REIT	—	22.52	13	985
ファンド	口数、金額	口数、金額	6,695	488,363
合計	銘柄数<比率>	銘柄数	16銘柄	<18.7%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < > 内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(3) 先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘柄別	当期末	
	買建額	売建額
外国 SPI 200 FUTURES (オーストラリア)	百万円 98	百万円 —

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年9月24日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	2,007,363 千円	76.6 %
投資信託証券	488,363	18.6
コール・ローン等、その他	123,803	4.8
投資信託財産総額	2,619,530	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月24日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=72.94円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(2,606,003千円)の投資信託財産総額(2,619,530千円)に対する比率は、99.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年9月24日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,619,530,748円
コール・ローン等	35,954,444
株式(評価額)	2,007,363,811
投資信託証券(評価額)	488,363,435
未収入金	1,633,856
未収配当金	27,494,512
差入委託証拠金	58,720,690
(B) 負債	4,250,036
未払解約金	4,250,000
その他未払費用	36
(C) 純資産総額(A-B)	2,615,280,712
元本	1,324,432,466
次期繰越損益金	1,290,848,246
(D) 受益権総口数	1,324,432,466口
1万口当り基準価額(C/D)	19,746円

* 期首における元本額は1,586,364,927円、当作成期間中における追加設定元本額は30,464,019円、同解約元本額は292,396,480円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、オーストラリア好配当株式オープン(毎月決算型)46,292,631円、ダイワ・オーストラリア高配当株マザーファンド1,278,139,835円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は19,746円です。

■損益の状況

当期 自2019年3月23日 至2019年9月24日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	70,110,375円
受取配当金	69,913,857
受取利息	201,548
支払利息	△ 5,030
(B) 有価証券売買損益	24,705,373
売買益	267,254,431
売買損	△ 242,549,058
(C) 先物取引等損益	10,324,110
取引益	10,539,939
取引損	△ 215,829
(D) その他費用	△ 1,389,669
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	103,750,189
(F) 前期繰越損益金	1,434,585,596
(G) 解約差損益金	△ 276,283,520
(H) 追加信託差損益金	28,795,981
(I) 合計(E+F+G+H)	1,290,848,246
次期繰越損益金(I)	1,290,848,246

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

マネー・ポートフォリオ

最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額				公社債組入比率	純資産総額
	(分配落)	税金	込み	騰落		
	円		円		%	百万円
11期末 (2017年 9月21日)	9,996		0	△	0.0	47
12期末 (2018年 3月22日)	9,993		0	△	0.0	17
13期末 (2018年 9月21日)	9,988		0	△	0.1	17
14期末 (2019年 3月22日)	9,984		0	△	0.0	4
15期末 (2019年 9月24日)	9,979		0	△	0.1	106

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

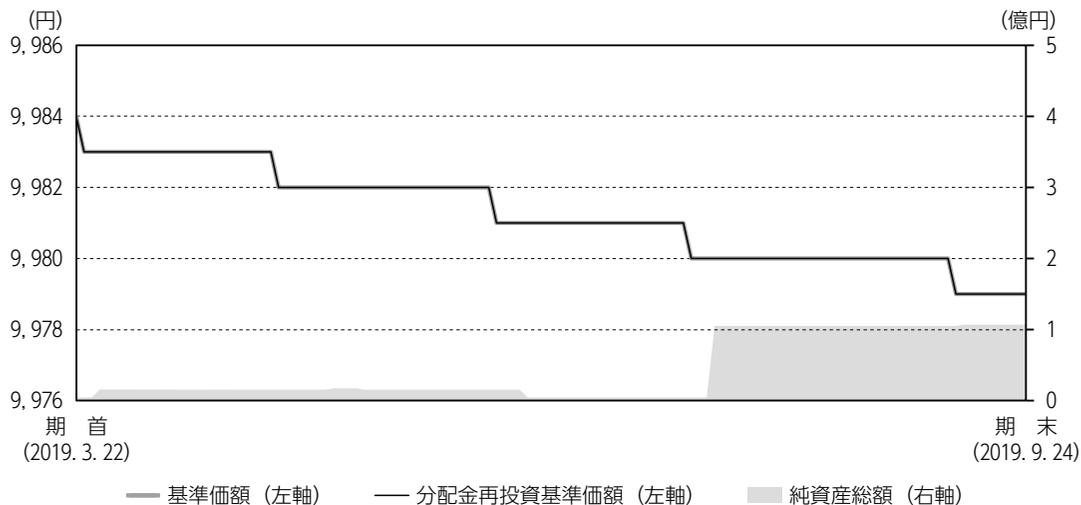
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 4) 当ファンドは、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンドの資金をスイッチングにより一時滞留させる受け皿としての役割を持ったファンドであり、マザーファンドおよび短期金融資産による安定運用を行います。そのため、ベンチマークおよび参考指数はありません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,984円

期末：9,979円（分配金0円）

騰落率：△0.1%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の受益証券を通じて投資したコール・ローンの利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ

年 月 日	基 準 価 額		公 組 入 社 比	債 率
	円	騰 落 率 %		
(期 首) 2019年 3月22日	9,984	—		—
3月末	9,983	△ 0.0		—
4月末	9,983	△ 0.0		—
5月末	9,982	△ 0.0		—
6月末	9,981	△ 0.0		—
7月末	9,980	△ 0.0		—
8月末	9,980	△ 0.0		—
(期 末) 2019年 9月24日	9,979	△ 0.1		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 3. 23 ~ 2019. 9. 24)

国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性及び資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 3. 23 ~ 2019. 9. 24)

当ファンド

「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性及び資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当期	
	2019年3月23日 ～2019年9月24日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	9

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

今後も低金利環境が継続した場合には、ファンド全体の損益がマイナスとなり、基準価額が下落する可能性があります。投資家のみなさまにおかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 3. 23~2019. 9. 24)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	—円	—%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,981円です。
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.007	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.007)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	1	0.007	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

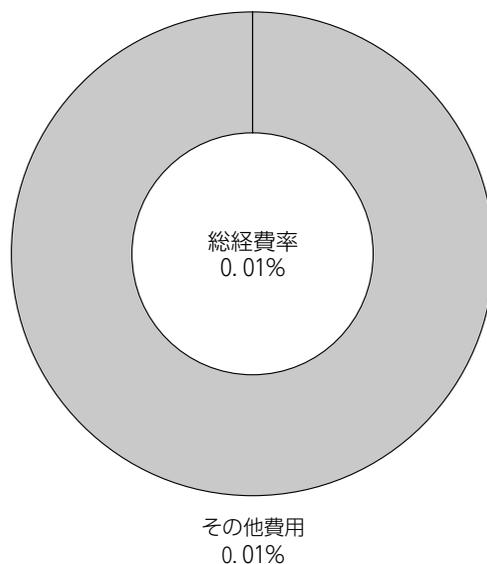
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.01%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年3月23日から2019年9月24日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	115,102	115,036	13,067	13,061

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	4,466	106,501	106,426

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年9月24日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	106,426	99.5
コール・ローン等、その他	534	0.5
投資信託財産総額	106,961	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年9月24日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	106,961,314円
コール・ローン等	534,533
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	106,426,781
(B) 負債	187
その他未払費用	187
(C) 純資産総額 (A - B)	106,961,127
元本	107,186,308
次期繰越損益金	△ 225,181
(D) 受益権総口数	107,186,308口
1万口当り基準価額 (C / D)	9,979円

* 期首における元本額は4,494,933円、当作成期間中における追加設定元本額は115,684,078円、同解約元本額は12,992,703円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,979円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は225,181円です。

■損益の状況

当期 自2019年3月23日 至2019年9月24日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 149円
受取利息	6
支払利息	△ 155
(B) 有価証券売買損益	△ 11,728
売買益	2,431
売買損	△ 14,159
(C) 信託報酬等	△ 187
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 12,064
(E) 前期繰越損益金	△ 759
(F) 追加信託差損益金	△ 212,358
(配当等相当額)	(96,874)
(売買損益相当額)	(△ 309,232)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 225,181
次期繰越損益金 (G)	△ 225,181
追加信託差損益金	△ 212,358
(配当等相当額)	(96,874)
(売買損益相当額)	(△ 309,232)
分配準備積立金	5,418
繰越損益金	△ 18,241

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	5,415
(c) 収益調整金	96,874
(d) 分配準備積立金	3
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	102,292
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	102,292
(h) 受益権総口数	107,186,308口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ）が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2019年9月24日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を28ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年3月23日～2019年9月24日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2019年9月24日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第7期（決算日 2018年12月10日）

（作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日）

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

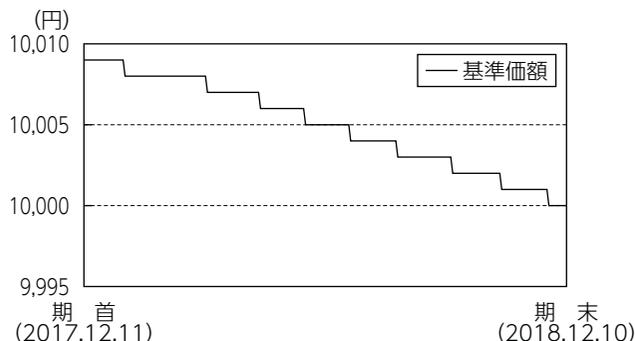
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比	騰 落 率	騰 落 率
	円	%			
(期首)2017年12月11日	10,009	-	-	-	-
12月末	10,009	0.0	-	-	-
2018年1月末	10,008	△0.0	-	-	-
2月末	10,008	△0.0	0.5	-	-
3月末	10,007	△0.0	-	-	-
4月末	10,006	△0.0	-	-	-
5月末	10,005	△0.0	-	-	-
6月末	10,005	△0.0	-	-	-
7月末	10,004	△0.0	-	-	-
8月末	10,003	△0.1	-	-	-
9月末	10,002	△0.1	-	-	-
10月末	10,001	△0.1	-	-	-
11月末	10,000	△0.1	-	-	-
(期末)2018年12月10日	10,000	△0.1	-	-	-

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
- (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,009円 期末：10,000円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆ 投資環境について

○ 国内短期金融市況

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	4 (4)
合 計	4

- (注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
- (注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	国債証券	180,001	(180,000)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
- (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
- (注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
	金 額		金 額
	千円		千円
723	国庫短期証券 2018/3/5		90,000
757	国庫短期証券 2018/8/13		50,000
731	国庫短期証券 2018/7/10		40,000

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
- (注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	9,019,491	100.0
投資信託財産総額	9,019,491	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	9,019,491,424円
コール・ローン等	9,019,491,424
(B) 負債	745,957
その他未払費用	745,957
(C) 純資産総額(A - B)	9,018,745,467
元本	9,018,625,641
次期繰越損益金	119,826
(D) 受益権総口数	9,018,625,641口
1万口当り基準価額(C/D)	10,000円

* 期首における元本額は17,399,953,390円、当作成期間中における追加設定元本額は2,846,717,287円、同解約元本額は11,228,045,036円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジあり) 999円、ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジなし) 999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム(毎月分配型) 219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム(年2回決算型) 24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム(毎月分配型) 848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム(年2回決算型) 66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジあり) 6,592,748円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジなし) 10,288,683円、ダイワ/パリュール・パートナーズ・チャイナ・イノベーター・ファンド10,000円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(年1回決算型) 4,995円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(年1回決算型) 4,995円、ダイワ・ブラジル・リアル債α(毎月分配型) スーパー・ハイインカムー α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・リアル債α(毎月分配型) スーパー・ハイインカムー α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ14,873,813円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver 3ー 858,588,190円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver 6ー 2,475,152,803円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver 7ー 828,595,357円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver 4ー 1,078,808,907円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver 5ー 2,095,808,384円、ダイワ円債セレクト マネーコース1,605,380,447円、ダイワ・スイス高配当株ツインα(毎月分配型) 2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース1,490,665円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 日本円コース497,633円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) ブラジル・リアル・コース994,307円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 通貨セレクト・コース397,742円、ダイワ世界インカム・ハンター(年2回決算型) 為替ヘッジあり40,885円、ダイワ世界インカム・ハンター(年2回決算型) 為替ヘッジなし100,789円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(毎月分配型) 1,235円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(毎月分配型) 1,598円、通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 日本円コース(毎月分配型) 1,544円、通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファ

ンド 通貨セレクトコース(毎月分配型) 1,984円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,000円です。

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 5,977,479円
受取利息	2,652
支払利息	△ 5,980,131
(B) その他費用	△ 4,966,849
(C) 当期損益金(A + B)	△ 10,944,328
(D) 前期繰越損益金	15,761,364
(E) 解約差損益金	△ 5,797,371
(F) 追加信託差損益金	1,100,161
(G) 合計(C + D + E + F)	119,826
次期繰越損益金(G)	119,826

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。